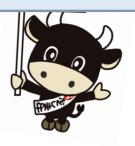




JA全農福島だより ~ 令和4年度 2月号~

- ■トップ園芸部~ゆうやけべリーデビュー
- ■キャンペーン関係 燃料部〜JA-SS PayPayポイントキャンペーン開催 米穀部〜新米キャンペーン抽選会の開催
- ■ご案内 畜産部〜和牛甲子園出品牛を販売します! 営農支援部〜農福連携をおすすめしております!
- ■トピックス 肥料農薬部~令和3年度土壌分析結果について 施設資材部~展示会にて共同購入トラクタSL33LをPR

























待望の福島県いちごオリジナル品種 「ゆうやけべリー」がデビュー!

園芸部 園芸課

令和4年12月、福島県で約20年ぶりのいちごの新品種となる「ゆうやけべリー」がデビューしました。

「ゆうやけべリー」は、「とちおとめ」と「かおり野」を交配した品種で、約10年の歳月をかけて開発された品種です。「とちおとめ」と比較して甘みが強く、果皮は温かみのあるオレンジみがかった色で、まさに鮮やかな夕焼けをイメージさせるいちごです。栽培面では、厳寒期でも草生が維持されることから栽培管理がしやすく、開花から収穫までの日数が早いことで年内から多くの収量が見込めます。また、大粒な果実になりやすいのが特徴です。

今年は試験栽培のため、生産者が少なく限られていますが、来年以降は取り組む生産者も増え、新たな福島県のいちごとして期待がされます。県では、令和7年度までに13haの栽培を目指していますので、当会としても新たたな福島のいちごの顔となるよう販売対策を行い、販売先の確保、消費者へのPRを実施して参ります。現在は、県内一部量販店、直売所等で販売していますので、甘さたっぷりの「ゆうやけべリー」をぜひご賞味下さい。



「ゆうやけべリー」





夕焼けをイメージしたロゴデザイン

大切な方への贈り物にも!

キャンペーン情報

JA-SS福島県限定キャンペーン 【PayPayポイントキャンペーン】開催!



福島県内75のJA-SSでは、令和5年2月1日~2月 28日まで【福島県限定 JA-SS PayPayポイント キャンペーン】を開催します。

期間中、JA-SSで給油または洗車、オイル交換、タイヤ購入等でPayPay決済いただいたお客様に、1決済あたり5%の還元ポイントが付与されます。

(1決済最大500ポイント、最大3回まで)

※ご利用の際は、事前にクーポンをゲットしてください。

キャンペーン開催SSは「のぼり」が目印です。

JA-SSでは、今後もお客様へお得なキャンペーンを開催します。ぜひ、給油は、お近くのJA-SSで!!



JAグループ農産物直売所 新米キャンペーン抽選会の開催!

米穀部 米穀販売課

令和4年12月初旬まで実施された、福島県内JAグループ農産物直売所31店舗を対象とした、新米キャンペーンの抽選会が、令和5年1月13日に開催されました。

新米キャンペーンは、対象店舗で1,000円以上のお米を購入したレシートを応募いただくと、福島牛5,000円相当、麓山高原豚3,000円相当、県内直売所商品の詰め合わせ5,000円相当といった県農畜産物賞品が、総勢1,250名に当たるというものでした。

抽選会では、渡部県本部長、斎藤米穀部長、 三浦米穀次長の3名が、それぞれ5名ずつ、A賞、 B賞、C賞の抽選を行い、当選者が発表されまし た。

当選賞品の発送は、2月中旬ごろとしております。今後も、全農福島では、お得なキャンペーンの開催を予定しております。



第6回和牛甲子園出品牛の販売フェア開催について

畜産部 畜産販売課

令和5年1月20日(金)に東京食肉市場で、全農主催の第6回和牛甲子園が開催されました。 和牛甲子園とは全国の高校生と、彼らが育てた和牛が集まり、日ごろの和牛飼育の取り組 みを発表し、その成果としての枝肉の肉質を競い合う大会です。

今年は出場校35校56頭の出品となり高校生の青春をかけた熱い戦いが繰り広げられました。

当県のからは福島県立磐城農業高校とJ福島県立会津農林高等学校の2校が参加し、磐城農業高校が優良賞を受賞する結果となりました。

そこでこの和牛甲子園出品牛を用いて下記のと おり販売フェアを開催いたします。

会津農林高等学校出品牛

2/4 コープあいづ8店舗

磐城農業高校学校出品牛

2/4 マルト 2店舗

お近くの方はぜひお立ち寄りください。





農福連携をおすすめしております!

営農支援部 TAC推進課

全農福島では労働力支援の一環として農福連携を推進しております。 農業者の労働力不足の解消、福祉事業所に通所する方の工賃向上を目的に、県内各地で 様々な作業のマッチングを行ってきました。事例をいくつかご紹介いたします。

- ■春から夏は野菜圃場の除草作業 防除を行いながらの草むしりは重労働です。手が回らない範囲をお願いした農家さん は、他の作業をやっている間に除草してくれるので本当に助かるとお話いただきました。
- ■夏から秋にかけては選果場での野菜・果樹用の段ボール製函作業 箱折り作業は出荷量に応じて数が多くなり、併せて時間もかかる作業です。基本的に 屋内での作業が多く、福祉事業所の方からも評判の高い作業です。
- ■冬場は果樹の剪定枝拾い 剪定枝を一か所に集めておくことで、その後の処理作業が楽になるうえ、小さく切り分けてひとまとめにする作業まで行った事例もあります。

全農福島の農福連携への取組みも3年目となり、様々な作業の実績が増えてきました。今後も農家の労働力支援に取り組んで参りますので、困ったことがあればご相談ください



箱折り作業



枝拾い

いわき農機センター展示会にて 共同購入トラクタSL33LをPR

施設資材部 農業機械課

令和5年1月20・21日、いわきカントリエレベーターにて農業機械展示会を開催致しました。

今年はいわき市スマート農業研修会も同時開催し、農業用ドローン・直進アシスト田植機の実演を行い、419名の方にご来場いただきました。

展示会では令和5年3月末で終了する低コスト農機「共同購入トラクタSL33L」の展示をはじめ、トラクタ・田植機・コンバイン・作業機など様々な農業機械を展示致しました。中でも、「レンタル田植機6条」や「共同購入第3弾となるコンバイン事前申込」ブースでは多くの組合員に手取り最大化の提案を行うことができました。

今後も生産者の省力化・手取り最大化の提案に取り組んでいきます。



3月末で終了する共同購入トラ クタSL33Lブース



直進アシスト田植機の実演

令和3年度 土壌分析結果について

肥料農薬部 技術対策課

農業技術センター(以下、当センター)では、土壌分析、残留農薬分析等を通して、農産物の生産性・品質の向上、適正施肥について支援を行っています。

昨年、公布された「みどりの食糧システム戦略」においても、生産性向上、化学肥料の低減等の具体策が示され、その足掛かりとして土壌分析の必要性が示されています。

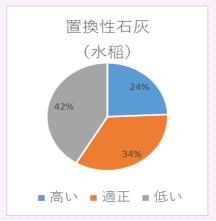
当センターで令和3年度に実施した土壌分析は、3,670点(水稲圃場 738点、園芸圃場 2,932点)あり、その分析値をそれぞれの作物の改良目標値と照らし、高い、適正、低いの三段階で評価しました(図1)。

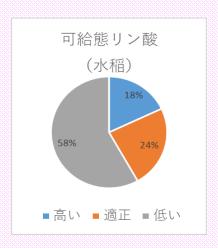
その結果、水稲では、石灰、リン酸、ケイ酸、鉄が不足している圃場が多く、園芸圃場では、石灰、苦土、リン酸が過剰な圃場が半数程ありました。

土壌の養分は、不足しても過剰でも作物が適正に育ちません。 圃場の状態をよく把握し、施肥改善をしていきましょう。

なお、現在、土壌分析は繁忙期を向かえ、連日、沢山の依頼を頂いております。令和4年度中の分析を予定されている方は、早めのお申込みと、試料の事前調整(乾燥・粉砕)にご協力くださいますようお願いいたします。

全農福島では、営農指導員を対象とした土壌関連の各種講習会を行っております。受講をご希望の方は、肥料農薬部 技術対策課までお問合せください。







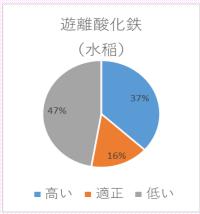


図1 改良目標値に対する分析値の評価

